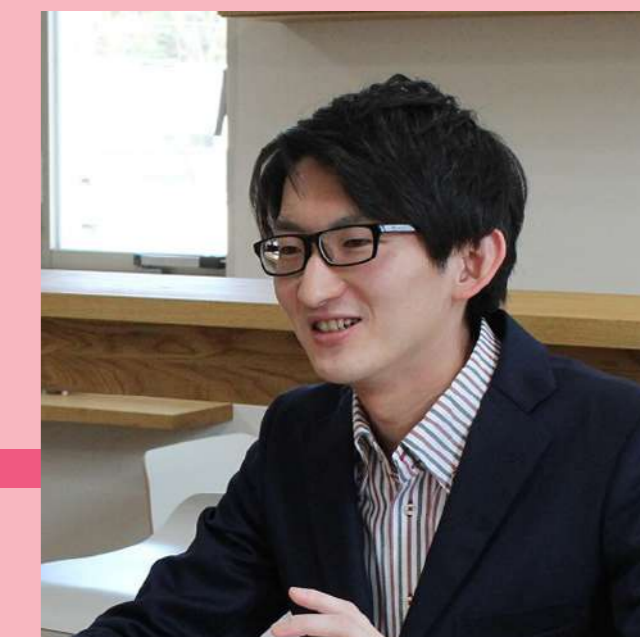


中山間地域における農外参入企業への農地集積に向けた課題



自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ

衛藤 彬史

国内における農地面積は、1961年時点の609万haをピークに2019年には約440万haに減少しています。このうち耕作放棄地は約1割にあたる42.3万haと年々増大傾向にあり、特に中山間地域に多く存在しています。

今後長期的な人口減少が見込まれる中、農地を引き続き維持するための対策の1つに、企業による農業参入の促進があります。

市内全域が中山間地域である兵庫県養父（やぶ）市では、2014年より中山間地農業における国家戦略特別区域の指定を受け、規制緩和をはじめとした農外企業参入を積極的に推進しています。

市内への参入事業者11社を対象とした聞き取りに基づき、経営耕地面積の拡大に向けた課題を分析すると、多くの参入企業が参入後に周辺の土地所有者から農地を預けたいという希望を聞いていること、参入後の規模拡大意向は主に営農形態で特徴や課題が異なり、土地利用型で拡大意向のある事業者が多いこと、また拡大可否の要因は労働力不足であり、特に草刈作業や水管理作業等が負担となり面積拡大を困難にしていることが明らかになりました。

結果より、新たな担い手への農地集積を促すためには、農外企業の誘致や担い手への利用集積に向けた対策とあわせて、地域内の管理作業を担う団体の組織化など、地域での体制づくりに向けた対策が両輪で求められるといえそうです。

参入企業の概要 (2019年時点)

No	参入企業名	作目	営農形態	耕地面積
1	(株)クボタeファームやぶ	水稻, トマト	土地利用および施設(養液土耕)	10.2ha
2	住環境システム協同組合	リーフレタス	施設(水耕)	0.57ha
3	(株)トーヨー養父農業生産法人	トマト	施設(水耕)	0.3ha
4	やぶファーム	ピーマン, 葉物	土地利用および施設(水耕)	5.1ha
5	(株)アムナック	水稻(酒米)	土地利用	10.7ha
6	(株)やぶの農家	米, にんにく等	土地利用	8.6ha
7	(株)アグリイノベーションズ	ブルーベリー	土地利用	1.1ha
8	(株)やぶさん	にんにく	土地利用	0.6ha
9	(株)やぶの花	花卉	土地利用	0.79ha
10	兵庫ナカバヤシ(株)	にんにく	土地利用	10.15ha
11	(株)三大	ハバネロ	土地利用	0.3ha



特区事業者の市内参入地域